2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで
がん研究会有明病院で緊急放射線治療を受けた方へ
研究実施のお知らせ

研究の題名：緊急放射線治療に関する全国調査
研 究 期 間：病院長の許可日～2023 年３月３１日
当院の責任者：公益財団法人がん研究会有明病院　放射線治療部　部長　吉岡靖生

　がん研究会有明病院では上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 4 年 4 月 1 日施行）に基づき、加工された既存情報(診療録等)の研究利用について以下に公開します。

【研究の目的と意義について】

国内の緊急放射線治療の実態を把握し、データを作成する。さらにそのデータを基に全国のより多くの機関で安心・安全に緊急放射線治療を提供する体制を構築するための検討を行います。データを基に全国のより多くの機関で安心・安全に緊急放射線治療を提供する体制を構築するための提言を作成できます。

【研究の方法について】

照射患者データベースから該当症例を抽出します。
照射記録、カルテからデータを抽出し、統計処理をおこないます。

【利用する情報について】

＜対象となる患者さん＞
2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日に当院にて緊急放射線治療（紹介から 12 時間以内に初回治療を施行）をうけた患者さん。
＜利用する情報・項目＞
情報：診療録情報、検査データ
なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。臨床情報は個人が特定できないよう加工したうえで、がん研究会有明病院から山梨大学へメールにて提供を行います。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究は以下の研究機関で実施します。
研究代表者
山梨大学医学部放射線医学講座　教授　大西洋
既存情報の提供のみを行う機関
公益財団法人がん研究会有明病院

【試料・情報の管理に関して責任を有する者について】
　山梨大学、がん研究会有明病院

【個人情報の取り扱いについて】
　収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】
　この研究は、山梨大学が関する研究費を用いて実施されます。また、当院からの既存情報の提供はがん研究会有明病院で管理されている研究費を用います。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、当院の責任者及び分担者は、利益相反についてがん研究会利益相反委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】
　この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。
　また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

【問い合わせ等の連絡先】
公益財団法人がん研究会　有明病院
放射線治療部　部長　吉岡　靖生
メールアドレス：yasuo.yoshioka@jfcr.or.jp
FAX: 03-3520-0141